

准教授 鳥海 直美

(女)

(トリウミ ナオミ) (Naomi Toriumi)

◆ 学 位	学 位 名	博士 (学術) 大阪市立大学	修士 (学術) 大阪市立大学	
	取得方法	課程 平成 18 年取得	課程 平成 14 年取得	
◆ 学 歴	大 学	大阪市立大学生活科学部社会福祉学科 卒業		
	大 学 院	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程 平成 18 年 3 月修了 (長寿社会総合科学講座長寿社会福祉科学コース障害者・高齢者福祉学分野)		
◆ 学 内 職 務 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 入試広報委員 ▪ 人権・同和推進委員 			
◆ 担当授業科目 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 相談援助の基盤と専門職 I・II ▪ 社会福祉相談援助演習 I・II・III・IV・V ▪ 社会福祉相談援助実習指導 A・B・C ▪ 社会福祉相談援助実習 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 人間福祉演習 I・II・III・IV ▪ 社会福祉学文献研究 1 (和書) ▪ 社会福祉学特論 9E 人間福祉学英語研究 	
	◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 社会福祉士 (登録 No. 06972) 			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード		
社会福祉学		<ul style="list-style-type: none"> ▪ ソーシャルワーク ▪ 障害児者の地域生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アドボカシー ▪ アクションリサーチ 	
◆ 研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「障害児者入所施設における訪問アドボカシーシステム創出のためのアクションリサーチ」平成 29~31 年度科学研究費・基盤研究 (B) 研究分担者 ▪ 「児童福祉施設へのアウトリーチ型権利擁護システムの開発」平成 29~31 年度科学研究費・基盤研究 (C) 連携研究者 ▪ 「障害児施設 市民訪問アドボカシー事業：障害のある子どもたちの尊厳を守るために」ソーシャル・ジャスティス・ファンド基金助成事業, 公益社団法人 子ども情報研究センター, 研究協力者, 平成 29~30 年 			
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本社会福祉学会 ▪ 日本在宅ケア学会 ▪ 日本介護福祉学会 ▪ アートミーツケア学会 			
◆ 主要著書 (5 件程度)				
書名・タイトル		単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 独立子どもアドボカシーサービスの構築に向けて: 児童養護施設と障害児施設の子どもと職員へのインタビュー調査から 		共	平成 30 年 2 月 7 日	第 8 章「障害児施設職員にとっての訪問アドボカシー導入のニーズ・懸念・資質」, 第 9 章「障害児施設入所児童にとっての訪問アドボカシー導入のニーズ・懸念・資質」, 堀正嗣編著, 解放出版社, pp. 138-166, pp. 167-179.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ アートミーツ叢書② 生と死をつなぐアート 分かたれた者たちの共生のために 		共	平成 27 年 11 月 1 日	2-4 「亡くなった人とともに生きるーホスピスケアにおけるケアの営みをもとに」 pp. 100-121, 共著者: 田村恵子・鳥海直美, 責任編集: 秋田光彦・坂倉杏介
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 新・社会福祉士養成講座 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 [第 5 版] 		共	平成 27 年 2 月 1 日	6-6 「居宅介護等従業者の役割と実際」 pp. 223-228, 編著者: 小澤温・坂本洋一, 中央法規出版

<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉学事典 	共	平成 26 年 10 月 10 日	1-④「介護の人材と介護労働安定センターの役割」pp. 158-159, 編集: 日本介護福祉学会事典編纂委員会, ミネルヴァ書房
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> 中高生の知的障害児が取り組む自立生活プログラムの開発ー障害児の地域生活支援におけるアクションリサーチを通してー 	単	平成 29 年 3 月	『四天王寺大学紀要』63, pp. 37-54
<ul style="list-style-type: none"> 学齢期の知的障害児への相談支援モデルの開発: <子どもからはじめる個人将来計画>を用いた相談支援のアクションリサーチ 	単	平成 26 年 3 月	『四天王寺大学紀要』57, pp. 269-289
◆ その他 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> 都道府県児童福祉審議会を活用した子どもの権利擁護の仕組み 調査研究報告書 	共	平成 30 年 3 月	厚生労働省平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業, 第 11 章第 5 節「障害児の権利擁護」pp. 171-174.
<ul style="list-style-type: none"> 障害児入所施設における独立子どもアドボカシー導入のニーズと懸念 	共	平成 28 年 9 月 11 日	第 64 回日本社会福祉学会, 共同発表者: 鳥海直美・栄留里美・久佐賀眞理・農野寛治・堀正嗣 (於: 佛教大学)
<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設入所児童への外部アドボカシー導入研究: ICAS 提供モデルの構築 研究報告書 	共	平成 28 年 3 月	平成 25~27 年度日本学術振興会科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 研究報告書 (研究代表者: 堀正嗣), pp. 16-17, 19-20, 51-57, 86-87, 90-93, 100-101, 121-124.
<ul style="list-style-type: none"> 「ともに学ぶ」ことから生まれるもの 	共	平成 27 年 2 月	『ともにまなぶ ともにいきる』第 2 号, pp. 28-46, まっすぐプランニング